

## 1 令和4年度事業報告について

### 令和4年度事業報告

令和4年度については、新型コロナウイルス感染症の発生から3年が経過し、感染者数についても全体としては穏やかな減少が続いておりますが、いまだ、新型コロナウイルス感染症の収束には至っておりません。

国の水際対策も、令和4年10月から外国人の入国制限の見直しが行われ、令和5年4月29日以降は、全ての入国者に対して入国時の陰性証明書及びワクチンの接種証明書の提出が廃止されるなど、インバウンドについて規制緩和が進められ、また、新型コロナウイルスの感染法上の位置付けについても、本年5月8日以降、2類相当から5類へ移行されました。

これらの国の対策の見直し並びに国及び県独自のキャンペーン等による支援等もあり、年度後半からは、本県を訪れる観光客はインバウンドを含め増加してきておりますが、コロナ禍前にはまだ戻らず道半ばという状況であります。また、業種による偏りも見られ、全体的にコロナ禍前に戻るには、まだ、今しばらく時間が必要な状況にあります。さらに、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う運営資金借入金の償還時期を迎えるという新たな課題も出てきており、本県の観光及び物産関係者にとっては引き続き大変厳しい年となっております。

このような中、当協会の観光振興部門においては、地域連携DMOとして、県内関係諸団体と連携し「公益社団法人山形県観光物産協会日本版DMO形成・確立計画評価検証委員会」を開催するとともに、観光地域づくりを担う法人として、新型コロナウイルス感染症拡大による影響が大きい、県内の宿泊施設、観光立寄施設、旅行会社及び交通事業者等を支援するため、県からの受託事業2事業及び県の補助事業1事業を実施するとともに、蔵王・庄内エリアの歴史・精神文化等と冬のアクティビティを組み合わせたコンテンツを造成し、専門家を交えたワークショップ及びモニターツアー等を国の補助事業として実施いたしました。うち県からの受託事業1事業については、引き続き支援を継続することになり、令和5年度においても継続事業となりました。

国内誘致事業については、当協会が事務局を担う山形県教育旅行誘致協議会が中心となり、教育旅行の誘致を中心に、「探究的な学び」に対応できる教育旅行プログラムを主軸とした「山形県探究マップ」の作成や、当協議会の会長である山形県知事によるトップセールスの実施及び商談会やセミナー等への参加並びに教育旅行関係者の招請事業の実施など誘客活動を展開しました。また、外客誘致事業についても、新型コロナウイルス感染症収束後を見据え、台湾については、台湾からの教育旅行誘致を図るため、オンライン個別相談会への参加及び山形と台湾の学生交流イベント「グローバルサミット “Be a Bridge”」を実施し、韓国については、現地の情報発信員を通じて韓国の情報収

集及び本県の観光と物産の情報発信に努めました。

物産振興部門においては、物産振興の柱である「山形県の観光と物産展」8会場中、東武池袋店（単県展）、三越伊勢丹立川店等4会場が、百貨店の都合により中止となり、また、「東北6県の観光と物産展」等についても、昨年と同数となり、新型コロナ禍前に比べ約半数の開催となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響等により、首都圏等県外での対面販売が厳しい中、当協会独自のインターネット通販サイト「とっておきの山形」や、令和5年3月に新たに開設した東京の山形県アンテナショップのECサイトである「おいしい山形プラザWEB」において県産品の販路拡大に努めました。また、全国の百貨店及び百貨店のグロサリー売場やスーパーマーケットを運営している企業等との取り引き並びに県内スーパーや「山の日」全国大会歓迎フェスティバル等県内で開催された催事等で、山形県の豊かな食や優れたものづくりと技術力の情報を発信するなど県産品の紹介及び販路の拡大を進めました。

## I 観光振興部門（公1：観光振興事業）

### 1 DMO推進に関する事業

観光地域づくりの舵取り役である地域連携DMOとして、県内関係諸団体と連携を図り「公益社団法人山形県観光物産協会日本版DMO形成・確立計画評価検証委員会」及び同ワーキンググループ会議を開催し、令和3年度事業報告及び令和4年度事業の中間報告、着地型旅行商品造成販売状況等のKPIの報告を行い、日本版持続可能な観光ガイドラインを活用した観光地マネジメントの推進アンケート結果やウィズコロナにおける現在の状況及び国・県に対する要望アンケート結果を基に、今後の事業展開やコロナ収束に向けた観光地域づくりについて議論した。

また、県内の宿泊事業者や旅行会社、観光立寄施設等の事業者を支援する需要喚起キャンペーンやポストコロナに向けた施設整備のための支援事業を展開するとともに、本県の地域特性を活かしたアドベンチャートラベルの冬季コンテンツ造成を実施した。

#### （1）会議の開催等

##### ① 形成・確立計画評価検証委員会ワーキンググループ会議

開催日：令和4年11月21日（月）

会 場：山形市観光案内センター会議室

- ② 形成・確立計画評価検証委員会会議  
開催日：令和4年12月20日（火）  
会 場：ホテルメトロポリタン山形
- ③ 着地型旅行商品造成販売状況調査及び日本版持続可能な観光ガイドラインを活用した観光地マネジメントの推進アンケート、ウィズコロナにおける現在の状況及び国・県に対する要望アンケートの実施  
実施日：令和4年9月22日（木）

## （2）研修事業等

- ① 東北観光振興機構主催「第7期フェニックス塾」への参画  
第1回開催日：令和4年 6月29日（水）入塾式  
会 場：宮城県仙台市 ホテルメトロポリタン仙台  
第2回開催日：令和4年 7月29日（金）  
会 場：岩手県盛岡市 岩手教育会館  
第3回開催日：令和4年 9月15日（木）、16日（金）  
会 場：福島県耶麻郡北塩原村 Active Resorts 裏磐梯  
第4回開催日：令和4年10月 7日（金）  
会 場：山形県山形市 食糧会館  
第5回開催日：令和4年11月17日（木）、18日（金）  
会 場：秋田県仙北市 グランデールガーデン、角館交流センター  
第6回開催日：令和4年12月16日（金）  
会 場：新潟県新潟市 コープシティ花園  
第7回開催日：令和5年 1月27日（金）  
会 場：青森県青森市 青森市観光物産会館アスパム  
第8回開催日：令和5年 3月 7日（火）  
会 場：宮城県宮城郡松島町 ホテル松島大観荘

## ② 県内学校への取組み支援・協力

山形県立山形東高等学校（山形市）が行う「探究活動」への取組みについて、連携協力機関・研究助言者として地域振興分野の生徒発表に対し、アドバイス等の支援を行った。

開催日：令和4年7月22日、9月26日、11月10日  
令和5年2月 2日

### (3) 観光誘客対策事業の実施

#### ① 県内泊まってお出かけキャンペーン事業

新型コロナウイルス感染症の拡大で大きな影響を受けている山形県内の宿泊施設、観光立寄施設、旅行会社等を支援する事業を行った。

##### ア やまがた春旅キャンペーン事業

- ・期 間 令和4年4月1日～5月31日  
(ただし、4月29日から5月8日宿泊分は除く)

- ・対 象 山形県、北海道、岩手県、宮城県、秋田県、福島県、新潟県、青森県(4月11日から対象)在住者

##### イ やまがた夏旅キャンペーン事業

- ・期 間 令和4年6月1日～8月31日
- ・対 象 山形県、北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、福島県、新潟県在住者

##### ウ やまがた秋旅キャンペーン事業

- ・期 間 令和4年9月1日～10月10日
- ・対 象 山形県、北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、福島県、新潟県在住者

#### 【ア、イ、ウのキャンペーン事業の内容】

- ・県内宿泊施設宿泊割引  
4,000円以上の宿泊代金の1/2(500円単位)  
上限5,000円
- ・県内日帰り旅行割引  
4,000円以上の旅行代金の1/2(500円単位)  
上限5,000円
- ・地域限定クーポン  
2,000円/人泊・旅行

##### エ やまがた旅割キャンペーン事業(全国旅行支援)

- a 期 間 令和4年10月11日～12月27日
- 対 象 全都道府県に拡大

事業内容

割引率 40%

割引上限額 交通付旅行商品 8,000円  
(1泊あたり)

上記以外 5,000円

クーポン券 平日 3,000円

休日 1,000円

b 期間 令和5年1月10日～3月31日

(3月16日に6月30日まで延長する旨が  
発表された。ただし、4月29日から5月7  
日までの宿泊は対象外)

対象 全都道府県に拡大

事業内容

割引率 20%

割引上限額 交通付旅行商品 5,000円  
(1泊あたり)

上記以外 3,000円

クーポン券 平日 2,000円

休日 1,000円

※クーポン券は原則電子クーポン

※利用期間 宿泊 チェックイン日から8日間  
日帰り 旅行当日から8日間

オ 令和4年度における旅行支援の実績

割引助成額 8,274,495,207円

事務費 967,029,668円

計 9,241,524,875円

② 多言語解説整備支援事業(観光庁直轄事業)

観光庁において、日本語原稿を単純に翻訳するものでなく、旅行者目線での観光地の魅力を伝える解説文作成を行うため、「ネイティブの専門人材」が現地取材を行い、ネイティブ目線での英語等の解説文を作成する事業に尾花沢市銀山温泉を中心とする地域が選定された。

このため、当該事業を円滑に進めるため、尾花沢市が中心となり当協会

も参画し「山形県銀山温泉多言語解説整備推進協議会」を設立し、令和3年度は英語による解説文整備を進め、銀山温泉や銀坑洞、徳良湖、花笠踊りなど尾花沢市の観光資源33項目の英語解説文を作成し、令和4年度においては、英語解説文に基づき中国語（簡体字、繁体字）の解説文を作成した。

完成した解説文については、Google マイマップ機能を利用した「銀山温泉周辺観光マップ」等において活用されている。

### ③ 医療ツーリズム推進事業

山形大学医学部において、重粒子線がん治療装置によるがん治療が開始されたことにより、新型コロナウイルス感染症の収束に伴い、県外からも多くの患者及び家族の来県が見込まれることから、本県の豊かな温泉や食をPRするとともに、将来的に山形県ならではの医療ツーリズムの確立に向け、患者等を対象とした旅行の宿泊モニター体験を実施する事業を実施した。

事業内容：山形大学医学部で重粒子線がん治療を受けた本人及び付添いの家族に対し、県内の宿泊施設で利用できる5,000円の宿泊助成を実施するとともに、アンケートの収集を行った。

実績：19名（14組） 95,000円

### ④ ポストコロナに向けた観光施設支援事業

県内の観光施設等が行うポストコロナに向けた新たな取り組み（Wi-Fi整備、キャッシュレス決済機器導入等）を助成する事業

助成内容：

助成対象経費区分	施設区分	助成率	助成上限額 (1施設あたり)
(1) ポストコロナに向けた、誘客促進のための新たな取組に要する経費	「山形県新型コロナウイルス対策認証制度」の認証施設	3/4	100万円
	上記以外の観光施設	2/3	88万8千円
(2) 専門家等からの助言に要する経費	全ての観光施設	10/10	20万円

申請受付期間：令和4年4月1日（金）～令和4年12月15日（木）

実績：434件 助成総額297,798,000円

## ⑤ 広域周遊観光促進事業の実施

(アドベンチャートラベル冬季コンテンツ造成)

観光庁「広域周遊観光促進のための観光地支援事業」の補助を受け、蔵王・庄内エリアの歴史・精神文化等と冬のアクティビティを組み合わせたコンテンツを造成し、専門家を交えたワークショップ及び検討会議、モニターツアー等を実施した。

### ・ワークショップ及び検討会議

第1回開催：令和4年 7月27日(水) 会場：蔵王体育館

第2回開催：令和4年 9月 7日(水) 会場：いでは文化  
記念館

### ・モニターツアー

第1回開催：令和4年11月28日(月)～30日(水)

エリア：庄内

第2回開催：令和4年12月 5日(月)～ 7日(水)

エリア：蔵王

### ・報告会

開催日：令和5年 3月 3日(金)

開催方法：ハイブリッド形式

会場：やまぎん県民ホール オンライン：Zoom 配信

事業を通じ、地域事業者連携の拡充、テーマやストーリー設定、スルーガイド育成等の課題等が確認され、コンテンツを再評価し、本県のアドベンチャートラベルを推進する意識醸成につながった。

## 2 誘客推進事業

### (1) 国内誘致事業(公1)

#### ① 教育旅行誘致事業

新学習指導要領に示されている「探究的な学び」に対応できる教育旅行プログラムを主軸とした、「山形県探究マップ」を作成するとともに、山形県教育旅行誘致協議会会長である山形県知事によるトップセールスの実施や商談会等において本県の取組みを紹介した。また、本県に教育旅行で訪れた学校に対し助成を行った。

#### ア トップセールスの実施

新規の誘致及び定着化を図るため、山形県教育旅行誘致協議会会長である山形県知事によるトップセールスを実施した。

日 程：令和4年10月11日（火）

訪問先：東武トップツアーズ株式会社 本社  
株式会社 JTB 本社

イ 教育旅行誘致活動

a 東北エリア旅行会社

訪問先：宮城県、岩手県の大手旅行会社12箇所

b 北海道エリア教育機関等

訪問先：函館市内大手旅行会社等8箇所

c 首都圏エリア旅行会社

訪問先：東京都、神奈川県、埼玉県の大手旅行会社  
12箇所

d 関西エリア旅行会社

訪問先：大阪府、兵庫県の大手旅行会社等15箇所

e 中部エリア旅行会社

訪問先：愛知県の大手旅行会社4箇所

f 九州エリア旅行会社

訪問先：福岡県の大手旅行会社4箇所

ウ 商談会等への参加

東北観光推進機構主催の「東北教育旅行セミナー」において本県教育旅行誘致プレゼンテーションを実施した。

対 象：学校関係者及び旅行会社の教育旅行担当者

開催日時：令和4年7月 6日（水）札幌会場

7月21日（木）東京会場

8月24日（水）大阪会場

8月30日（火）名古屋会場

9月13日（火）福岡会場

7月11日（月）オンラインセミナー

エ 教育旅行誘致及び受入態勢整備への支援

教育旅行誘致協議会会員が実施する誘致事業及び受入整備事業に対し助成を行い、各地域での活動の活性化を図った。



助成件数：3件

オ 教育旅行関係者への招請事業の実施

a 旅行会社教育旅行担当者招請事業

新規の誘致と更なる定着化を目的とし、旅行会社教育旅行担当者等3名を招請し、本県の教育旅行プログラム視察を行った。

日程：令和4年9月29日（木）～30日（金）

視察：鶴岡市（庄内観光物産館、加茂水族館、鶴岡サイエンスパーク、ヤマガタデザイン）

戸沢村（SDGsプログラム、舟下り体験）

新庄市（製材所見学、バイオマス発電所見学）

b 東北観光推進機構主催の関東圏公立高校及び公立中学校教諭を対象とした招請事業における山形セミナーの開催

学校教諭11名に対し、本県教育旅行誘致プレゼンテーションを行ったほか、県内事業者から農家民泊等について説明した。

日程：令和4年10月30日（日）

会場：米沢市上杉博物館

カ 誘致活動のための資料作成

旅行会社の教育旅行担当者からの要望が多い教育旅行用のマップ「山形県探究マップ」を作成し、県内の体験施設や観光施設の種類や位置関係が一目で分かる資料として誘致活動の推進を図った。

キ 新規教育旅行実施に伴う助成事業

山形県への教育旅行の継続と定着化を図るため、新規教育旅行を行う事業者等に対し助成した。

延宿泊数：8,954名（前年対比：212.2%）

ク 情報発信事業

a 日本修学旅行協会発行「月刊教育旅行」（2月号）にて、「～教育旅行で学ぶ日本の産業とモノづくり」特集記事の原稿執筆及び広告掲載を行った。

b 宮城県のフリーペーパー「河北ウィークリー Jr」（9月14日秋号）に、本県の教育旅行誘致の広告掲載を行った。

② アンテナショップでの誘客宣伝（県委託事業）

東京都中央区銀座の本県アンテナショップ「おいしい山形プラザ」で観

光案内、観光情報提供業務を行い、首都圏からの誘客に努めた。

観光案内相談件数：5,044件（前年対比：148.6%）

③ 山形ファンクラブの管理運営（県委託事業）

山形ファンクラブ会員31,560人（令和5年3月31日現在）

（前年対比：102.7%）

ア 山形ファンクラブ会員限定イベント

「ぐるりおいしい山形めぐりスタンプラリー」

実施時期：令和4年12月16日（金）

～令和5年2月5日（日）

例年のイベントのように参加人数を限定せず、パートナーショップと連携しスタンプラリー形式のイベントを開催した。

応募総数：45件。

当選者には、「やまがた女将会の宿泊補助券」や「特産品の詰合せ」「サンダンデロ商品券」をお送りした。

また、抽選に外れた方を対象に再抽選を行い、Wチャンス賞として「おいしい山形プラザ商品券」をプレゼントした。

今回のスタンプラリーをきっかけに、パートナーショップの周知や来店を促すことができた。

イ メールマガジンの発行による情報提供 年20回発行

（臨時号含）

④ 地域資源活用交流促進事業（県補助事業）

戦国武将をモチーフに、本県の歴史・文化・物産等を情報発信し観光誘客を図る「やまがた愛の武将隊」を支援した。

（2）外客誘致事業・インバウンド事業（公1）

① 台湾訪日教育旅行オンライン個別相談会への参加

日本政府観光局主催の同相談会にて山形県ブースを設置し、台湾の学校関係者に対し、本県の教育旅行素材等をPRした。

日程：令和4年11月22日（火）

参加：台湾側 約180団体（学校関係者等）

日本側 42団体（自治体、観光協会等）

- ② 学生交流イベント「グローバルサミット“Be a Bridge”」の開催  
台湾からの教育旅行誘致を図るため、山形と台湾の高校生の交流促進を図るイベントを台湾高雄市にて開催した。

内容：リアルとオンラインのハイブリッド形式にて山形の高校生19名（うちオンライン参加8名）、台湾の高校生33名が、気候変動や省エネルギーなどのSDGsをテーマに英語で議論する交流イベントを開催した。

日程：令和5年2月7日（火）～8日（水）

場所：台湾高雄市「国立台湾科学工芸博物館」

- ③ 日台教育旅行関係者意見交換会への参加

日本政府観光局主催の同意見交換会にて台湾の学校関係者と訪日教育旅行について意見交換を行うとともに、本県の教育旅行素材等をPRした。

日程：令和5年2月14日（火）

参加：台湾側 68名（学校関係者等）

日本側 83名（自治体、観光協会等）

場所：京王プラザホテル新宿

- ④ 台湾教育関係者招請事業の実施（山形県、宮城県、福島県受託事業）

台湾の教育旅行関係者6名を山形県、宮城県、福島県に招請し、学校交流をはじめとする教育旅行受入プログラム等の視察及び体験を通じ、教育旅行の受入地としての魅力発信を行った。

日程：令和5年2月14日（火）～18日（土）

視察：山形市（蔵王樹氷）、新庄市（新庄東高等学校、SDGsプログラム、雪国アクティビティ）、天童市（書駒体験）

- (3) 山形県スキー場誘客推進協議会事業（公1）

山形県スキー場誘客推進協議会の会員である県内8箇所のスキー場への誘客を目的としたスタンプラリーキャンペーンの実施や、会員スキー場を中心に活動するスキースクールへの助成を行った。

会員：蔵王温泉、ライザ、天童高原、月山、赤倉温泉、天元台、米沢、湯殿山の索道11団体及び関係7市町、4観光団体（22会員）

① 山形県スキー場スタンプラリーキャンペーンの実施

山形県スキー場誘客推進協議会会員スキー場を巡り、スキー場2箇所(スタンプ2つ)以上で応募可能。応募者の中から抽選で賞品をプレゼントするキャンペーンを実施した。

実施期間：令和5年1月21日(土)～令和5年6月11日(日)

② スキースクールへの支援事業

山形県スキー場誘客推進協議会会員スキー場を拠点に活動するスキースクールに対し、広告等の作成や誘客活動に係る費用を助成した。

助成対象：令和4年9月1日から令和5年7月31日(月)までに実施した事業に係る経費

(4) 山形県観光ボランティアガイド連絡協議会事業(公1)

県内4地域(村山・最上・置賜・庄内)の協議会と49団体が加盟する全県組織である山形県観光ボランティアガイド連絡協議会の事務局を担い、総会及び研修会を実施した。

① 役員会 年2回開催

② 総会 令和4年11月24日(木)

令和3年度事業報告及び決算、令和4年度事業計画及び予算について

③ 研修会 令和4年11月24日(木)

山形市山寺にて、山寺外国語ガイド「Yamaderans(ヤマデランス)」の取組みの説明及び山寺観光ガイド「きざはし会」による「峯の浦」の案内

3 観光人材の育成と組織強化等

(1) 観光人材養成事業(公1)

県内観光関係従事者の資質向上を図る人材養成団体や郷土文化を保存継承する団体を支援した。

① 山形観光アカデミー

② やまがた舞子

③ 酒田舞娘

(2) 山形県観光物産事業功労者の表彰（公1）

県内広域観光団体の推薦により、本県の観光物産振興に功績のあった個人・団体を令和4年6月10日（金）の当協会第77回通常総会において表彰した。

- ① 石川 博資（大江町）
  - ② 鳥海やわたインタープリター協会（酒田市）
  - ③ 佐々木 悦朗（庄内町）
- 以上1団体2個人

(3) 山形県奥の細道観光資源保存会事業（公1）

本県を代表する観光ルートとして定着している「奥の細道」を更にPRし誘客を図るため、首都圏イベント（夏の旅観光展、日本観光振興協会主催）等への支援など、誘客宣伝活動を展開するとともに、保護対策事業として標柱や看板の修繕補修、環境美化事業を支援した。

保護対策事業

- ・山刀伐峠頂上駐車場 奥の細道案内板修繕設置（最上町）
- ・山刀伐峠環境美化整備（尾花沢市、最上町）

(4) やまがた女将会事業

県内温泉地の旅館女将で組織する「やまがた女将会」の事務局を担い、県や観光団体等と連携し、本県の観光PRを実施した。また、会員相互の研鑽を図るための研修会の開催を支援した。

- ① 役員会 年2回開催
- ② 総会 令和4年7月12日（火）  
令和3年度事業報告及び決算、令和4年度事業計画及び  
予算について
  - ・研修会「特別講演」  
演題：紅花と草木染  
講師：佐久間 政子 氏
- ③ 各種会議・団体行事等への協力及び公益事業等の実施  
おいしい山形推進機構総会、ふるさと納税事業ほか

(5) 他団体との共同事業（公1）

日本観光振興協会に共同事業負担金を拠出した。

4 情報提供事業（公1）

(1) ホームページ「やまがたへの旅」情報発信事業

山形県の公式観光サイトとして常に新しい情報を提供するとともに、コロナ禍における旅行ニーズ等に対応したトピックス情報の発信を行った。

アクセス件数：5, 140, 053回（前年対比148.6%）

(2) 観光データ提供事業

県内各地から旬の情報を収集し、本部、支部の各情報センターの他、令和4年8月に開催された「山の日」全国大会会場において観光PRブースを設置し、県内の観光情報等の提供により観光誘客に努めた。

5 やまがた観光情報センター管理運営事業（県指定管理事業：公1）

本県を訪れる観光客や来県を計画するお客様に対し、的確な現地情報を提供するため、「やまがた観光情報センター」の管理運営を受託し、来館者や電話等による県内観光案内及び県産品等紹介のほか、メールマガジン（毎月1回）やニュースレター（毎月1回）等による情報発信、シーズンに合わせた環境演出やパネル展の開催、物産展「ハッピーフライデー」（毎月1回）を開催した。

① 来館者数： 82, 012人（前年対比144.8%）

② 案内件数（カウンター）： 3, 294件（前年対比243.6%）

③ 案内件数（電話案内）： 1, 506件（前年対比135.7%）

II 観光事業部門（収：観光誘客促進事業、公1）

1 直営施設の管理運営（収）

やまなみ食堂及び蔵王駐車場用地の管理運営を行った。

2 観光施設整備融資事業（公1）

県内市町村の観光団体等を対象とした観光施設整備事業に対する融資事業の

募集を行ったが、新規の利用はなかった。

### Ⅲ 県外支部等の運営（公1：観光振興事業・公2：物産振興事業）

本県の観光と物産の情報発信基地として、東京、大阪、北海道及び名古屋各支部の運営を行った。また、韓国においては、現地の戦略的情報発信員との連携を密にして、韓国における観光物産情報の収集と発信を行った。

### Ⅳ 物産振興部門（公2：物産振興事業）

#### 1 「山形県の観光と物産展」山形単県展の開催

山形県の観光資源や特産品、名産品を紹介宣伝し、誘客活動と県産品の販路拡大を促進することを目的に、実行委員会（近清剛実行委員会会長）を設置し「山形県の観光と物産展」を下記のとおり実施した。

令和4年度は、百貨店の都合により4会場での観光と物産展が中止になった。

No	会場名	会期	来場者数	前年比	テーマ・イベント等
1	名鉄百貨店本店	6/1~7	48,000人	81.3%	本県の厳選された特産品「上質ないいもの」を取りそろえ県産品の紹介、宣伝
2	三越伊勢丹日本橋本店	6/15~20	25,000人	89.2%	「おもてなし」を再認識し、山形県の厳選された特産品を揃え、更にクオリティーを高め再構築し、紹介・販路拡大
3	東武池袋店 (山形・宮城展)	11/10~15	※来客数 カウント なし	—	宮城県と連携し、本県の厳選された特産品「上質ないいもの」を取りそろえ県産品の紹介、宣伝。 お楽しみ抽選会
4	新宿駅西口広場	12/11~16	10,000人	66.6%	本県の厳選された特産品「上質ないいもの」を取りそろえ県産品の紹介、宣伝
5	三越伊勢丹浦和店	(百貨店の都合によりにより中止)			
6	三越伊勢丹立川店	(百貨店の都合によりにより中止)			
7	東武池袋店(単県展)	(百貨店の都合によりにより中止)			
8	高島屋岡山店	(百貨店の都合によりにより中止)			

2 当協会主催催事の開催及び百貨店等主催催事への出展

全国の百貨店等を会場に地下催事など当協会主催催事を開催するとともに、百貨店等が主催する「東北6県の観光と物産展」等の催事に出展し、県産品のPR、販路拡大に努めた。実施数は、昨年と同数となった。

○ 「東北6県の観光と物産展」等の催事実施数

エリア	実施数	前年度増減	主な会場
北海道	0カ所	-1	
東北	0カ所	0	
関東	34カ所	-1	三越伊勢丹立川店・浦和店、京急百貨店他
中部	9カ所	0	高島屋名古屋店、松坂屋静岡店、三越伊勢丹静岡店他
関西	4カ所	0	高島屋京都店、近鉄百貨店他
中国	5カ所	+1	そごう広島店、福屋八丁堀店他
四国	1カ所	0	いよてつ高島屋
九州	4カ所	+1	山形屋、鶴屋熊本、大分トキハ、博多阪急
計	57カ所	0	

3 新規催事場の確保

県産品の紹介宣伝と販路拡大を図るため、首都圏の百貨店等に「観光と物産展」の企画、提案等を行った。

令和4年度に積極的に営業活動を行った結果、令和5年度に新規会場として丸広川越店、グランディオ立川店、東急吉祥寺店の3会場で開催することになった。

4 新型コロナ対策事業（催事関係）

新型コロナウイルス感染症により県外での物産展等催事が開催できないなどの影響が出ていることから、新型コロナ対策事業として、県内スーパー等での移動販売等を実施した。

○ 移動販売（主なもの）等の実施状況

実施場所	実施日数	延出展社数
ショッピングプラザBEL（山辺店）※土日	4日	8社
イオン山形北店 ※土日	6日	7社
イオン山形南店 ※金土日	7日	20社
イオン天童店 ※土日、金土日	6日	39社
イオン仙台店 ※土日	9日	9社
イオン旭川	10日	10社
春日井まつり	2日	2社

5 斡旋事業（卸事業）の推進

従来から取引している、三越伊勢丹百貨店、近鉄百貨店、東急百貨店等、令和



2年度に取引を始めた、(株)アイ・エム・シー、(株)柳生屋フーズ、(株)高島屋ファーム等を通じて、全国の百貨店のグロサリー売場やスーパーマーケットで県産品の販売を行うとともに、三越伊勢丹百貨店オンラインサイトの物産展「山形展」など、最近活発化している百貨店オンラインサイトに開設されるWEB物産展への商品掲載を行い、県産品の販路拡大に努めた。

- ・令和4年度斡旋先数 18社（団体を含む。）
- ・百貨店オンラインサイト 3社（短期開設を含む。）

## 6 ネット販売事業

当協会が運営する県産品の通販サイト「とっておきの山形」及び「とっておきの山形 Yahoo!ショッピング店」において、県産品のPRと販売促進を行った。

また、新型コロナ対策事業として、さくらんぼ販売応援セール等を実施した。

さらに、令和5年3月1日には、東京の山形県アンテナショップ「おいしい山形プラザ」のECサイトである「おいしい山形プラザWEB」を開設し、ショップ内商品から厳選して100品目を掲載した。（令和5年3月現在の注文件数：14件）

### ○ 「とっておきの山形」アクセス数、注文件数等

	令和4年度	前年比
アクセス件数	約171,300件	79%
注文件数	約1,720件	87%

- (1) 人気商品 県産米・果物、農産加工品
- (2) 出展商品数 約650商品
- (3) 出展事業者数 約270企業
- (4) 購入品の構成 米・フルーツ(25%)、肉・魚・農産加工品(25%)、菓子(22%)  
味噌・醤油・漬物(10%)、蕎麦・麺類(3%)、民芸品等(2%)  
飲料(5%)、詰合せ・セット(5%) 酒・ワイン(3%)
- (5) 購入者居住エリア ①山形県(29%) ②東京都(21%) ③神奈川県(9%)  
④埼玉県(8%) ⑤千葉県(5%) ⑥その他(28%)
- (6) 購入者の年代 ①60代(27%) ②50代(25%) ③40代(17%)  
④30代(13%) ⑤70代(11%) ⑥その他(7%)

### ○ プロモーション企画

会員拡大と消費者の購買意欲を高めるため、ポイントキャンペーン、割引キャンペーン、プレゼント企画を実施した。

- (1) ポイント5倍キャンペーン：7/27～8/5
- (2) ポイント8倍キャンペーン：1/10～1/31 県産米プレゼント
- (3) 全品10%割引キャンペーン：2/1～2/20 山形牛プレゼント

※お買上げ1円につき1ポイント付与

○ 新型コロナ対策事業：さくらんぼ販売応援セール

- ①実施期間 令和4年4月25日（月）～6月20日（月）
- ②掲載企業数及び商品数 6社、28商品
- ③注文数 141件（前年比95%）

○ 「とっておきの山形 Yahoo!ショッピング店」アクセス数、注文件数等

	令和4年度	前年比
アクセス件数	約 14,900件	
注文件数	約 280件	

- (1) 人気商品 菓子、麺類、肉加工品
- (2) 出展商品数 約150商品
- (3) 購入品の構成 米・フルーツ(14%)、肉・魚・農産加工品(18%)、菓子(27%)  
味噌・醤油・漬物(13%)、蕎麦・麺類(16%)、民芸品等(2%)  
飲料(5%)、酒・ワイン(5%)

7 研修会・商談会の実施

○ 研修会

(1) テーマ 「インボイス制度について」

内 容 令和5年10月から始まるインボイス制度への対応準備を円滑に進められるように説明を受けた。

講 師 山形税務署 審理専門官 若木 淳一 氏

開 催 日 令和4年8月3日（水）

参加企業 22社

(2) テーマ 「GFP（農林水産物・食品輸出プロジェクト）の取り組みについて」

内 容 農林水産省による農水産物・食品の輸出拡大を図る試みに関してその取り組みと施策の紹介を受けた。

講 師 農林水産省輸出・国際局 課長補佐 二瓶 晴一郎 氏

開 催 日 令和4年10月31日（月）

参加企業 26社

○ 商談会

(1) 「イオン東北株式会社との商談会」

イオン東北株式会社の各店舗の食品バイヤーと商談し、各店への納品や催事展開につなげるため開催した。

イオンバイヤー 各店8名

参加企業 16社

- 8 東京アンテナショップイベントコーナーの運営  
「おいしい山形プラザ」1階のイベントコーナーの貸出しを行い、県内市町村等が自ら行う催事の開催を支援するとともに、会員企業等による自社商品の直接対面販売を支援した。  
・東京アンテナショップ来店者数：531千人（前年比105.9%）
- 9 東北六県物産協会等連絡協議会の開催（幹事県：山形県）  
東北六県物産協会等連絡協議会を開催し、物産展、ECサイト、卸売事業等について、各県の状況などを意見交換した。  
・開催日 令和4年10月13日（木）
- 10 県内で開催された催事での県産品PR  
（1）8月11日（木） 山の日全国大会歓迎フェスティバル  
（2）9月23日（金）・24日（土） 日本一美酒県山形フェア  
（3）10月28日（金）・29日（土） 日本股関節学会